

「第8回 大阪韓国映画祭」

9月23日~25日、大阪のナレッジシアターにて開催

日本初公開の最新韓国映画5作品を上映 近畿大学と連携して新しい公式ロゴ及びポスター用ロゴタイプを制作・公開

駐大阪韓国文化院(院長 鄭泰九)は、西日本地域最大規模の韓国映画祭「大阪韓国映画祭」 を9月23日(金・祝)~25日(日)の3日間、ナレッジシアター(大阪市北区 / グランフロン ト大阪内)にて開催します。



「第8回 大阪韓国映画祭」公式ポスター

今年で8回目を迎える「大阪韓国映画祭」は、日本で様々な韓国映画を紹介するため、201 5年より毎年開催しています。日本初公開となる韓国の最新映画を中心にプログラムを構成 し、全国の韓国映画ファンの方々に好評を得ています。



この度の「第8回 大阪韓国映画祭」では、『マリムさんをお願い』、『2037』、『カシオペア』、『おんぶ』、『子供のための子供』の全5作品が、日本で初めて上映されます。



「第8回 大阪韓国映画祭」上映作(全5作品)

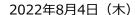
また、今年は「大阪韓国映画祭」の新たな公式ロゴおよびポスター用ロゴタイプを制作し公開しました。ポストコロナ時代に向け、映画祭の雰囲気を転換し、一層の飛躍を図るという意味を込め、公式ロゴを制作しました。

この度の公式ロゴ制作においては、大阪を代表する私立大学の近畿大学と連携し、同大学の 文芸学部 芸術学科 造形芸術専攻の2~4年生が提案した38作品の中から、公式ロゴ1作 品、ポスター用ロゴタイプ1作品を採択しました。



左:「大阪韓国映画祭」公式ロゴ、 右:「大阪韓国映画祭」ポスター用ロゴタイプ

公式ロゴは「大阪韓国映画祭」を韓国語と日本語のゴシックタイプで表現し、韓国と日本を 象徴する赤と青、そして大阪を象徴する水色の3つのカラーを活用し、日韓交流の意味を表 しています。





駐大阪韓国文化院の鄭泰九(ジョン・テグ)院長は、「日本を代表する教育機関の一つ近畿 大学との連携事業を通じて、未来世代である日本の学生たちが韓国映画祭の公式ロゴ制作に 参加してくださったのは、とても意味深いこと。今後「大阪韓国映画祭」が未来志向的な文 化交流の中心として、韓日両国の友好を深める文化イベントになってほしい」と話しました。

そして、採択された2つの作品は、今年の「第8回 大阪韓国映画祭」より、公式ポスターやリーフレットなど各種広報物として活用されます。また、この2作品を含む学生たちが制作したすべてのロゴデザイン案も、大阪韓国映画祭の会期中に会場のナレッジシアターにて展示されます。

「第8回 大阪韓国映画祭」の鑑賞申込方法など詳細は公式サイト(http://osakakorea.co m/okff2022)でご覧いただけます。鑑賞無料。事前申込・抽選制。

■開催概要

● 名称:第8回 大阪韓国映画祭

● 会期:2022.9.23(金・祝)~25(日)

● 会場:ナレッジシアター(グランフロント大阪 北館 4F)

● 主催:駐大阪韓国文化院

● 公式HP

第8回 大阪韓国映画祭 http://osakakorea.com/okff2022/



■上映作品

『マリムさんをお願い』

2021年・110分・日本語字幕・말임씨를 부탁해 (原題)

監督 パク・キョンモク

出演 キム・ヨンオク、キム・ヨンミン、

パク・ソンヨン ほか



2022年・126分・日本語字幕・이공삼칠 (原題)

監督 モ・ホンジン

出演 ホン・イェジ、キム・ジヨン、

キム・ミファ ほか



2021 copyright Paranoi & Cinepirun all rights reserved



2021 copyright Paranoi & Cinepirun all rights reserved

『カシオペア』

2021年・102分・日本語字幕・카시오페아(原題)

監督 シン・ヨンシク

出演 アン・ソンギ、ソ・ヒョンジン、

チュ・イェリム ほか



© 2022 Luz Y Sonidos All Rights Reserved.

『おんぶ』

2021年・107分・日本語字幕・어부바 (原題)

監督 チェ・ジョンハク

出演 チョン・ジュノ、チェ・デチョル、

イ・エルビン ほか



© Glovic Entertainment

『子供のための子供』

2021年・96分・日本語字幕・아이를 위한 아이 (原題)

監督 イ・スンファン

出演 ヒョン・ウソク、パク・サンフン、

チョン・ウンイン ほか



© 2022 Gozip Studio, All Rights Reserved